

JLAC11 結果単位コード 適用細則(案)

1. 主旨

- ・先頭を数字及び英字(A~Z I,Oを除く)、2桁で表記する。
(最大 340 単位、現時点 195 単位なので、2 桁目は数字のみで可能)
- ・測定単位をコード化する。
- ・検査結果に‘単位なし’の場合に対するコードも設定する 単位なし:01
- ・結果コードは他のコードとの紐付きはせず、独立させる。

2. 単位表記について

- ・標準単位を採用する。
- ・英数字は半角文字を使用する。
- ・日本語、ギリシャ文字などは全角文字を使用する。
- ・日本語の半角カナ文字は使用しない。
- ・ローマ数字は使用せず、算用数字に置き換える。
- ・上付き、下付き文字は、使用しない。
- ・べき乗は 10° とアスタリスクと数字で表記する。
例) $10^2=10^*2$ 、 $10^4= 10^*4$ など
- ・「,」が入る項目名は,「.」として記載する。

3. 付番について

- ・結果単位コードとして 2 ケタを使用する。
- ・先頭を数字(0~9)及び英字(A~Z I,Oを除く)とし 2 ケタ目は数字を使用する。
(・単位名称をおおよそ英字の順で昇順に付番する。)
- ・依頼:00 と付番する。

4. 採番について

- ・SI 単位系の表記が理想ではあるが、臨床検査の現況に鑑み、下記を留意事項とする。
- ・血算検査：赤血球数は、 $10^*6/\mu\text{L}$ 、白血球および血小板数は、 $10^*3/\mu\text{L}$
とすることが望ましい。
- ・生化学検査：標準化対応法に準じた検査項目については、U/L とすることが望ましい。(CK、AST、ALT、LD、ALP、 γ -GT、ChE、アミラーゼ)